令和新時代の県立高等学校教育実施計画＜前期（令和９年４月１日実施分）＞①

平成元年（1989年）以降の本県中学校卒業者数は、平成元年3月の9,657人をピークに減少傾向が続いており、令和7年3月は4,892人とピーク時からおよそ半減しています。さらに、令和17年3月の中学校卒業者数は約800人少ない4,051人、その後も継続してさらなる減少が見込まれ、令和６年度に生まれた子どもたちが高校に入学する頃には3,000人程度となると推計されます。（令和7年5月1日時点推計）
このような中においても、多様化する生徒の学習ニーズに応え、個々の能力を最大限伸ばすための教育効果を最も発揮できる特色ある高校であるため、再編を実施します。

高校教育改革の必要性

①社会情勢の変化
変化が激しく、予測不能なこれからの社会において、その変化に対応し、自ら課題を発見し、解決に向けて取り組む力を身に付ける学びへの変革が必要です。

②教育ニーズの多様化
多様化する生徒の学習ニーズや興味・関心に対応するため、教育活動の質の向上を図り、学びの幅を広げていくことが必要です。

③中学校卒業者数の減少
中学校卒業者数の減少が続く中で、高校においても、教育効果を最大限発揮できる適正な規模を維持しながら個々の能力を伸ばす、特色ある学校づくりを進めることが必要です。

自分の夢や目標の実現に向けた可能性を広げるために
「社会とつながり 体験する 選択できる 新しい学び」を創造します

方針１

生徒一人一人の資質・能力や可能性を最大限伸ばす学びを推進します。

めざす生徒像
○課題を発見し、コミュニケーションをとおして協力しながら創造的に解決できる生徒
○デジタル改革が進むこれからの時代に柔軟に対応できる生徒
○自己の学びを評価、点検、コントロールしながら学び続けることができる生徒
○多様性、協働性、寛容性を身に付け、異なる考えや価値観を尊重し共有できる生徒

方針２

将来の地域を支える人材を育てるふるさとキャリア教育を推進します。

めざす生徒像
○ふるさと鳥取への思いを持ち、将来どこに住んでいても鳥取県を誇りに思いながら、自分の暮らす地域で活躍できる生徒
○自立し、自分らしい生き方を実現できる生徒
○魅力と活力あふれる「元気なふるさと鳥取」を創造し、支えていくことができる生徒

方針３

様々な現代的諸課題に対応し、鳥取県や日本、世界に貢献できる力を育成する学びを推進します。

めざす生徒像
○持続可能な社会の創り手となるため、新たな価値観を創造できる生徒
○豊かな国際感覚、人権感覚を備え、ダイバーシティに富んだ世の中で活躍できる生徒
○鳥取県の豊かな資源や環境を活かし、地域や世界の持続的発展に寄与できる生徒

夢や目標をもって人生を切り拓く生徒の育成に向けて

基本計画＜前期＞の観点

前期は、将来の鳥取県を支える人材育成をさらに推進するため、専門学科を整理するとともに、より専門性を高度化します。
あわせて、各地区において規模の適正化を図り、それぞれの高校の魅力化を推進します。

令和新時代の県立高等学校教育実施計画＜前期（令和９年４月１日実施分）＞②

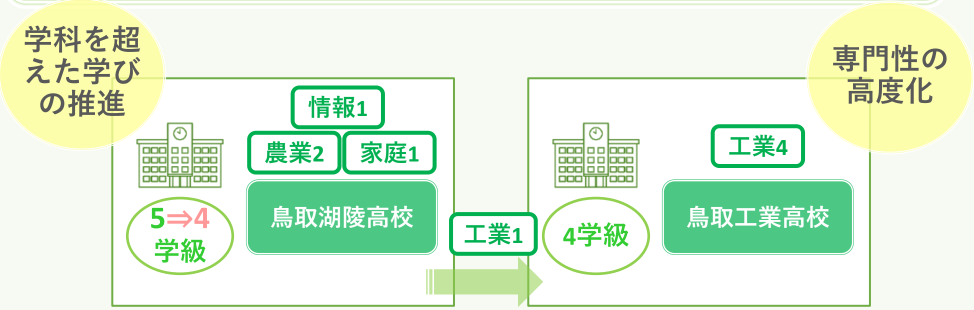
基本計画に示す方向性を実現させるため、各学校の教育課程や特色ある教育内容を「実施計画」として示します。
※令和９年４月１日再編の以下の５校について実施計画を策定します。

令和９年４月１日 県立高校は新しくなります

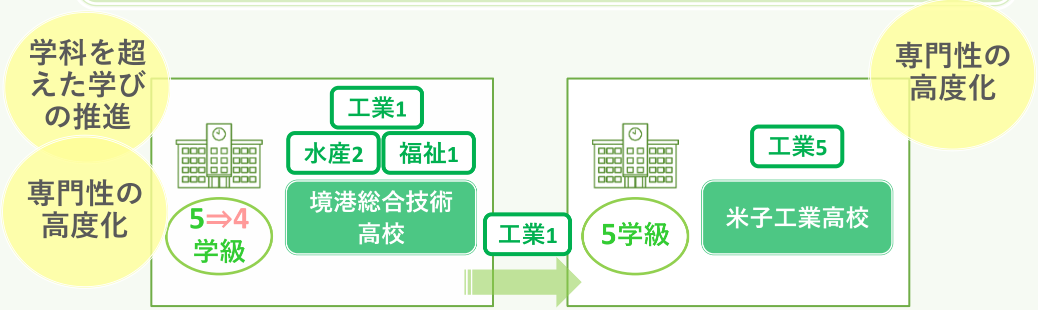
1　専門学科の整理・専門性の高度化

社会で求められる知識・技能が高度化する中において、地域産業の担い手となるスペシャリストの育成や、最新の技術に対応し、挑戦できる学びを推進していきます。
現在、東部地区及び西部地区において、分散して設置している工業学科について、施設・設備を集約し、教職員を集中することで、より高い専門的な学びの場へ再編します。

■鳥取湖陵高校の工業学科を、鳥取工業高校に再編します



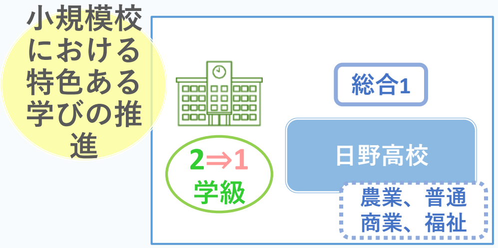
■境港総合技術高校の工業学科（電気電子科）を、米子工業高校に再編します ※機械科は境港総合技術高校に残ります



2　規模の適正化

日野郡の豊かな自然環境、地域資源を活かし、地元自治体等地域とのさらなる連携を進め、より地域に根差した学び、個別最適な深い学びの充実をめざします。
また、遠隔システムを活用した学びを充実し、県内外の高校や高等教育機関等との連携も進めます。

■日野高校を、１学年１学級に再編します



学科を超えた学びの推進

総合選択制のメリットを推進していきます

異なる専門学科が複数ある学校において、自分が所属する学科の学習だけでなく、興味・関心に応じて学科の枠を超え、他の学科の学習をすることができます。

○他学科の科目を学習することで、幅広い知識と柔軟な発想を身に付けることが期待できます。

○他学科の生徒との関わりの中で、様々な知識、経験に触れ、切磋琢磨する環境となります。

現在は、鳥取湖陵高校、倉吉総合産業高校、境港総合技術高校の３校に設置しています。

専門性の高度化

鳥取工業高校

工業4 → 鳥取湖陵高校から工業（電子機械）再編 → 工業4

先端技術を活用した学びやSTEAM教育をとおして、優れた技術や創造性を身に付けます

- **機械**：機械についての仕組みや部品設計、材料の加工方法などを学びます。
- **電気**：発電から利用までの電気の基礎を学びます。
- **情報工学**：コンピュータシステム、プログラミング技術、AI人工知能等について学びます。
- **建設工学（建築・土木）**：まちづくりの知識・技術について学びます。

このような学びを充実させます

○入学後に自分に合った学科を選択します（くくり募集）
１年次は4つの科（機械、電気、情報、建設）の実習等をとおして工業について幅広く学習します。2年次からはそれぞれの科で将来の自分の進路に向けて専門性を高める学習ができます。

○鳥工版STEAM教育を推進します
教科等横断的な学びにより、多面的な見方・考え方を学び、「課題研究」を中心とした探究学習によって地域の課題に気付き、ものづくりをとおしてその解決に向けて取り組みます。

○最先端技術を習得する学びを推進します
生成AI、VRゴーグル、3Dプリンタ、モーションキャプチャやドローンなどの先端機器やデジタル技術を活用し、産業界や研究機関と連携し、工業の様々な課題解決に取り組みます。

スーパー工業士　機械　電気
地域の未来を創る
情報工学　土木　建築

卒業後はこんな進路があります
○進学（４年制大学工学部、工業系短期大学 等）
○就職（機械・電気・電子・建設系企業、公務員 等）
○在学中に各種資格取得も可能です。
（電気工事士、測量士補、建築施工管理技士補 等）

専門性の高度化

米子工業高校

工業5 → 境港総合技術高校から工業（電気電子）再編 → 工業5

常識にとらわれない学びをとおして、新しいものを創り出す技術革新につなげます

- **機械**：金属加工を中心としたものづくりや設計製図、機械制御について学びます。
- **電気**：電気を安全に供給し有効活用する技術について学びます。
- **情報電子**：プログラミング、IoTなど情報技術全般や電子回路などの電子技術について、幅広く学びます。
- **環境エネルギー**：環境化学やエネルギー管理等を学びます。山陰地方で化学を専門に学ぶ唯一の科です。
- **建設（土木、建築）**：都市基盤に関わる測量や設計、建築物に関わる設計、製図等について学びます。

このような学びを充実させます

○産業界や地域人材と連携した技術講習や資格指導を推進します
プロから実技指導を受けることで、技能レベルの向上や資格試験の合格を実現します。

○防災・減災に関するものづくりについて学びます
お湯で発電する装置の製作や太陽電池を利用した移動式充電装置の製作、泥水の浄化、ドローン実習等をとおして、専門の学びを防災・減災に活かします。

○充実した設備により最先端技術を習得する学びを推進します
最新のデジタル機材等の教育環境のもと、AIやデータサイエンスなどの技術を取り入れた授業を行います。

電気　スーパー工業士　機械　情報電子
多眼思考×創造力＝未来の常識
次世代のものづくりに挑戦！
環境エネルギー　建築　土木

卒業後はこんな進路があります
○進学（４年制大学工学部、工業系短期大学 等）
○就職（機械・電力・建設系企業、公務員 等）
○在学中に各種資格取得も可能です。
（電気工事士、測量士補、建築施工管理技士補 等）

令和新時代の県立高等学校教育実施計画＜前期（令和９年４月１日実施分）＞④

学科を超えた学びの推進

鳥取湖陵高校

工業1 情報1 農業2 家庭1 → 鳥取工業高校に工業（電子機械）再編 → 情報1 農業2 家庭1

県内唯一の情報学科や、農業学科、家庭学科が融合した学科横断型の多様な学びを進めます

学科	内容
情報	コンピュータシステムの構築等、情報に関して幅広く学びます。
農業	植物の栽培管理や生産・加工・食品・流通に関して幅広く学びます。
家庭	衣食住、保育、福祉に関して幅広く学びます。

このような学びを充実させます

○全ての科で「情報Ｉ」を履修し、最先端の情報教育を実践します
情報活用能力を基盤とした各専門学科に必要な知識や技術を身に付けます。

○多様な進路に応じた学びが選択できます
他学科の科目を選択して学習することにより、一人一人の多様な進路実現を可能にします。幅広く専門性に触れることで新しい価値を生み出すことが可能となります。

○学科横断型の学びを行います
異なる学科の生徒が連携して学びます。学科横断型の課題研究をとおし、専門性を活かしつつ、より幅広い知識と柔軟な発想により学びに広がりを持たせます。

選べる学びで未来をデザイン

ＤＸ／湖陵ラボ／データサイエンス／普通科目／情報／衣食住 保育・福祉／園芸 造園／食品／スーパー農林水産業士

卒業後はこんな進路があります

○進学（４年制大学農学部・情報系学部、保育・福祉系短期大学・専門学校 等）
○就職（造園系・福祉系・情報系企業、公務員 等）
○在学中に各種資格取得も可能です。
（情報技術検定、技能検定（造園）、保育技術検定 等）

専門性の高度化

学科を超えた学びの推進

境港総合技術高校

水産2 工業2 福祉1 → 米子工業高校に工業（電気電子）再編 → 水産2 工業1 福祉1

海洋練習船「若鳥丸」や自動車実習設備、介護実習設備といった県内唯一の教育環境のもと、地域の産業界におけるプロフェッショナルの育成をめざします

学科	内容
水産	若鳥丸による航海実習や地元企業と連携した鮮魚や水産加工品販売などを行います。
工業	山陰地方で唯一、在学中に３級自動車整備士の受験資格を取得できます。
福祉	介護、保育等、様々な実習をとおして、福祉に関して学びます。

このような学びを充実させます

○国家資格の取得につなげます
山陰地方で唯一自動車整備士の資格が取得できます。また、介護福祉士、海技士など将来につながる資格を取得することで地域を支える人材育成につなげます。

○充実した施設・設備で学べます
海洋練習船 若鳥丸、食品加工実習棟、自動車整備実習棟、介護実習室など充実した施設での学びをとおして実践力を養います。さらに海洋データ処理室の整備等も検討し、スマート教育の実施とともに、より地域に役立つ研究を推進します。

○多様な科目から興味のある学びを選択できます
ダイビング、自動車実習、保育音楽、境のさかななど地域資源を活かした地域に根差した学びを進めます。

咲かそう！未来

ＤＸ／海洋／食品／自動車／福祉／観光／スーパー農林水産業士

卒業後はこんな進路があります

○進学（４年制海洋系大学、福祉系短期大学、専門学校 等）
○就職（水産・海運・福祉系企業、公務員 等）
○在学中に各種資格取得も可能です。
（海技士、潜水士、自動車整備士、介護福祉士 等）

令和新時代の県立高等学校教育実施計画＜前期（令和９年４月１日実施分）＞⑤

小規模校における特色ある学びの推進

日野高校 総合2 △1学級 → 総合1（農業、普通 商業、福祉）

日野郡の豊かな自然環境、地域資源を活かし、地域活性化に寄与する取組を進めます

このような学びを充実させます

〇一人一人の学びの幅を広げます
普通教科に加え、農業、商業、家庭・福祉の実践的な学びを展開します。
教科等横断的な学び（商業×農業、農業×福祉）など、各科目の学びを他の科目の学びに活用することで、学びの相乗効果を創出し、新たな価値を創造します。

〇自分だけの時間割を作ります
一人一人の興味関心、進路に応じて学ぶことができます。
一人一人に寄り添った丁寧な学びを進めます。

〇多様な意見に触れ成長できます
県外等からの生徒との対話的な学習や、地域との深い関わり、遠隔システムを活用した県内外とのつながりの中で、様々な意見に触れ、多様性、協働性、寛容性を身に付けます。

〇地域資源を活かした魅力ある学びができます
地域資源を活かした体験的な学びにより、「社会で生きる力」を身に付けます。

郷土芸能 たたら
荒神神楽の演舞の習得やたたらにより製鉄を行った素材を用いた創作活動を行います。

ミュージック セラピー
歌唱や楽器を用いた簡易伴奏を中心に学習します。

日野高ショップ
実習商品等を地域の方へ販売する学習します。

ふれあい動物園
愛玩動物等とのふれあいや、小学生や高齢者との交流活動を行います。

アウトドア
ラフティング、カヌー等を体験します。

レクリエーション 健康ゲーム
eスポーツ等をとおして子どもや高齢者と交流します。

「やさしさ」を強みに「思い」をカタチに

地域活性化
- 地域外からの貢献
- 地域での活躍
- 地域内外からの情報発信

卒業後はこんな進路があります

〇進学（４年制大学、保育・福祉系短期大学、農業大学校 等）
〇就職（福祉系企業、宿泊業、食品系企業、公務員　等）
〇在学中に各種資格取得も可能です。
（介護職員初任者研修修了資格、健康ゲーム指導士、危険物取扱者 等）

参考資料

前期計画の方向性

各高校の特色化をより推進し、主に中山間地域の高校や地域における人材育成を図る専門高校についての整理、再編などを検討し、より専門性を高度化します。
①中学校卒業者数の減少を踏まえ、前期中に240人程度の募集定員減を目途に規模の適正化を図ることとし、原則、学校数は維持したまま、学科の集約や学級減による整理、再編を進めます。
②現基本方針における「小規模校の在り方に関する基準」を引き続き適用します。
③特に、中山間地域の高校は、地元自治体等地域との関わりを考慮したうえで、地域における高校の役割が大きい場合には、１学年あたり２学級以下の学校規模であっても小規模校として設置するとともに、次の取組を実施します。
・地域外から生徒を呼び込むことのできる特色あるカリキュラム編成を検討します。
・地元自治体等と協力した学生寮等住環境の整備を図ります。

本計画は、中学生の入試動向、中学校卒業者数の推移が現時点の推計どおりに進行するとともに、社会情勢や国・県の施策等に大きな変更がない場合のものであり、想定と異なった状況が発生した場合には計画を変更することも想定しています。

令和新時代の県立高等学校教育実施計画＜前期（令和９年４月１日実施分）＞⑥

スケジュール

前期（令和８年度～令和12年度）

R7.3.15
基本計画公表

＜公表内容＞
- 工業学科再編（鳥取工業、鳥取湖陵、米子工業、境港総合技術）
- 日野高校再編
- 普通学科、総合学科、小規模校再編可能性学校名

→

R8.2.16
実施計画公表

＜公表内容＞
- 再編対象高校の具体的教育内容

→

R9.4.1
計画実施

鳥取工業
鳥取湖陵
米子工業
境港総合技術
日野

→

R10.10
基本計画、実施計画(追加)公表

＜公表内容＞
- 普通学科、総合学科、小規模校再編対象学校名
- 再編対象高校の具体的教育内容

→

R12.4.1
追加分計画実施

後期（令和13年度～令和17年度）

R10.10
基本計画公表

＜公表内容＞
- 再編対象学校名

→

R12.3
実施計画公表

＜公表内容＞
- 再編時期
- 再編対象高校の具体的教育内容

→

R13.4～
計画実施